

学会参加報告書

学籍番号	17PDA06	学系	トレーニング科学系
氏名	相馬 満利		
学会等名 (正式名称)	European College of Sport Science (ECSS) 2018		
開催日程	2018 年 7 月 4 日 ~ 2018 年 7 月 7 日		
開催場所 (国・都市名)	Dublin-Ireland		
発表演題名	Characteristics Of 3-D foot shape in Japanese swimmers by using homologous body model.		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> 学会全体の印象は、ヨーロッパで行われていたこともあり、日本人が少ないと思っていたが、意外と多くて驚いた。日本の学よりも、女性の方も多く参加していた印象だった。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> ・「CROSS-SECTIONAL AREA OF QUADRICEPS FEMORIS NEGATIVELY RELATES TO 100-M SPRINT TIME IN LONG DISTANCE RUNNERS」 ・「RECTUS ABDOMINIS AND ILIACUS MUSCLE SIZE ARE ASSOCIATED WITH LONG JUMP PERFORMANCE INDEPENDENTLY OF SPRINT RUNNING CAPACITY」 ポスター発表では、形態計測や身体組成に焦点をあてた研究内容はなかったが、MRI を用いたスプリンターとディスタンスランナーの大腿部の違いやジャンパーの臀部の違いを検討しているものがあつた。 口頭発表では、健康、体力のセッションで生活習慣病や体力測定、肥満など非常に面白い内容が多々あつた。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> 3 度目の国際学会となつた。今回は、2 分の口頭発表があつたため非常に緊張した。自身が競技していた時以上に緊張した。競技特性や種目特性による質問を受けた。もっと英語を勉強して細かいところまで色々な国の方々とディスカッションできるようにしたい。今回の大会も非常に有意義であり、今後の研究に対するモチベーションにもつながつた。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後 2 週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。